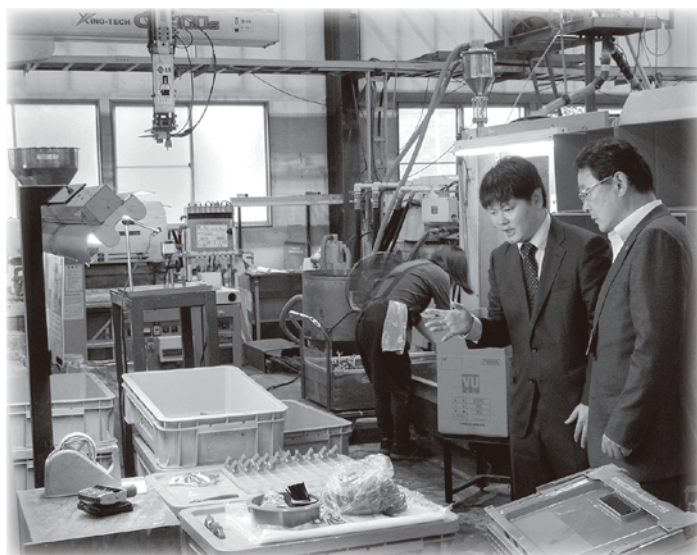


町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.16 ～

「株式会社トウ・プラス」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



生産工程の説明を受ける森町長

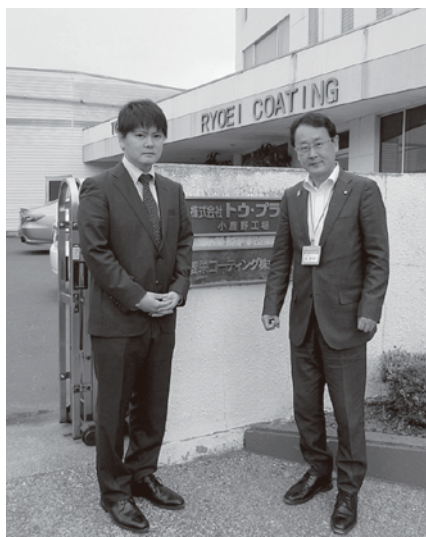
町長の見て・聞いて・話して

第16回の事業所訪問は、5月14日に株式会社トウ・プラスを訪問し、浅賀隆之常務取締役にお話を伺いました。

株式会社トウ・プラスは、昭和34年(1959年)、初代が秩父地域で初のプラスチックを主に扱う会社として、秩父市で創業しました。プラスチックの成形に付加価値をつけた塗装技術と蒸着の基幹技術を有する、プラスチック製品の加工を行う企業です。国内は小鹿野工場を含む6拠点、海外は2拠点の事業所があります。

案内していただいた小鹿野工場は、プラスチックの成形ラインが整備されており、女性社員により手際よく作業されておりました。出来上がった製品は寺尾工場、荒川工場で塗装・蒸着加工が施されます。

射出成形機、塗装ライン、真空蒸着機、金属切削機を自社で所有し、社内完結の一貫した生産が可能で、レーザーマーキングや印刷など、外観加飾における二次加工設備や測定評価機器なども多数完備され充実しておりました。



浅賀常務取締役(左)

平成14年(2002年)、同社の蒸着技術で携帯電話の表面を鏡面仕立て処理に成功したことは、世界初の全面蒸着として認められた瞬間となりました。

プラスチック成形加工技術の追求と付加価値の応用技術の確立のために常に努

力を惜しまない姿勢、さらに信頼、技術、実績の蓄積が調和された企業だからこそ、創業から60年という長きに亘り引き継がれてきた証であると感じました。

わが社の主力製品

蒸着・塗装・樹脂成形・金属加工など幅広い加工技術を用いて、携帯電話・デジタルカメラ・携帯ゲーム機などの外観加飾を施し、お客様のニーズに合った個性的で意匠性の高い製品を提供しております。

また、海外拠点では大型量産にも対応可能なキャパシティを有し、グローバルな対応を行っております。

ここに自信あり

当社は、金型の設計から成形・塗装・蒸着・金属加工・二次加工・出荷まで社内完結の一貫生産を行っております。社内で製品のコーディネートをすることで工程上の無駄を省き、低コスト・短納期・高品質を実現しております。プラスチックと金属、それぞれの特性を生かしたデザイン性に富んだ加飾の提案をしております。

また、当社は世界を代表するメーカーよりOfficial Supplierの認定を受けており、各社の厳しい品質基準にも合格する、優れた加工製品の提供が可能です。



女性社員による検査作業

会社概要

代表者 代表取締役社長 浅賀基久
常務取締役 浅賀隆之

従業員数 90名(国内拠点)

創業 1959年

所在地 本社:秩父市桜木町3-17

小鹿野工場:小鹿野町下小鹿野1103-1

電話 0494-75-0700(小鹿野工場)